

オランウータンとボルネオの森のオープン①

■ オープン日

5月21日 (火) 11時

(開園時間 9時30分～16時30分)

■ 新施設規模 (屋内)

面積：1,300m²

(旧施設の約 3 倍)

高さ：8 m

(旧施設の約 2 倍)



オランウータンとボルネオの森のオープン②

【施設の特徴①】

- オランウータンが生き生きと暮らせるよう、良好な動物福祉の確保に最大限配慮
- 高さ8mの屋内に、天然の木を模した擬木やツタの代わりとなるロープを設置し、オランウータンの本来の行動を引き出す工夫



▲屋内放飼場

オランウータンとボルネオの森のオープン③

【施設の特徴②】

- 生物多様性を「知ること」、「感じること」ができる工夫
- 熱帯性植物や、レプリカの動物植物を展示するなど、ボルネオ島の生態系を再現し、生物多様性や生命の営みを伝える



●「オランウータンとボルネオの森」のオープンについて

このたび、5月21日に円山動物園において「オランウータンとボルネオの森」がオープンします。同施設は、生息地のボルネオ島の森を再現し、オランウータンの本来の行動を引き出し、生き生きと暮らすことができるさまざまな工夫を凝らしています。

多くの方にご来園いただき、オランウータンや生息地に対する理解を深めていただくとともに、生物多様性の大切さを学んでいただきたいと思います。

また、オープン当初は混雑が予想されるため、期間を空けてからの来園についても、周知方ご協力願います。

1 オープン日時

5月21日(火) 11:00

※飼育状況などにより延期の可能性あり

※混雑時は、入場制限や観覧制限を実施



▲外観

2 オープニングセレモニー

(1) 日時：5月21日(火) 10:30~11:00

(2) 会場：「オランウータンとボルネオの森」入口前

(3) 内容：秋元市長あいさつ、テープカット

(4) 出席者：秋元市長、施設建設の支援企業・ボランティア団体など

(5) 当日の取材について

5月20日(月) 17:00までに円山動物園にご連絡の上、腕章を着用し、通用門から入園後、「オランウータンとボルネオの森」入口前にお越しください。

3 「オランウータンとボルネオの森」の概要

(1) 建設の経緯

1977年に建てられた「類人猿館」の老朽化に伴い、屋内飼育施設を新たに建設。良好な動物の福祉に配慮した、札幌市動物園条例制定後初の施設。

(2) 建設費

約13億円(屋外放飼場を除く)

(3) 施設構成

屋内放飼場：3カ所

屋外放飼場：2カ所

バックヤード(寝室、検疫室など)：6部屋

※好天時には、屋外放飼場で展示を行うため、屋内放飼場では観覧できない場合あり。

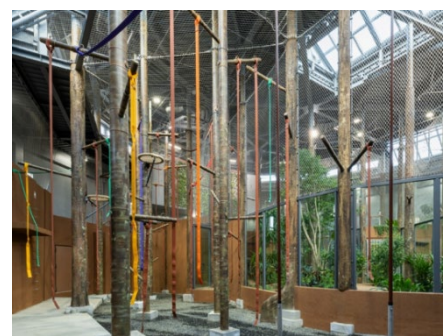
(4) 施設規模

屋内面積：1300㎡、屋内放飼場高さ：8m

(5) 主な特徴

① 良好な動物福祉の確保に最大限配慮

・最高8mの高さとなる屋内放飼場には、多くの擬木(ぎぼく)やツタの代わりとなるロープを設置し、木の上での生活を基本とするオランウータンが生き生きと暮らし、本来の行動を引き出すことができる工夫



▲屋内放飼場

- ・バックヤードで過ごす時間が長いことから、広いサブパドック（放飼場）を確保するとともに、健康管理のためのトレーニング室、検疫室を配置
 - ② 来園者がボルネオの生物多様性を「知る」「感じる」ことができる仕掛け
 - ・多くの熱帯性植物や、レプリカの動植物を展示しているほか、常に自然光が入る屋内に定期的にスクロールを降らせることにより、オランウータンがすむ森の多様な生態系を再現
 - (6) 飼育動物
 - ・レンボー（雌）25歳
 - ・令斗（レイト、雄）4歳
 - ・弟路郎（テイジロウ、雄）27歳
- ※弟路郎は5月上旬に釧路市動物園から移動予定、公開時期は未定

4 報道機関向け内覧会

- (1) 日時：5月14日（火）10：00～

※北海道コカ・コーラボトリング株式会社への館内サインージ寄付に対する感謝状贈呈式も併せて実施

- (2) 会場：「オランウータンとボルネオの森」入口前

- (3) 当日の取材について

5月13日（月）17：00までに円山動物園にご連絡の上、腕章を着用し、通用門から入園後、「オランウータンとボルネオの森」入口前にお越しく下さい。

【問い合わせ先】

円山動物園保全・教育推進課 寺島、石田

電話：621-1426、ファクス：621-1428

Eメール：zoo.suishin@city.sapporo.jp